

# きびん

No.03  
2012.4  
April



社会福祉法人 済生会  
済生会吉備病院

理念

地域に親しまれ、信頼される病院

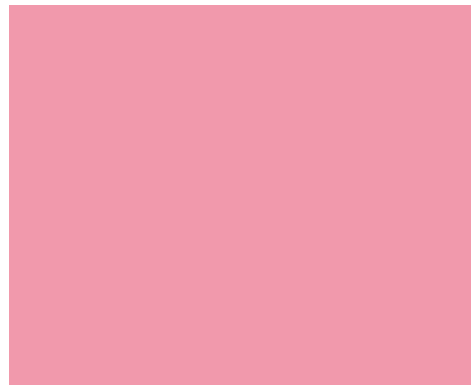
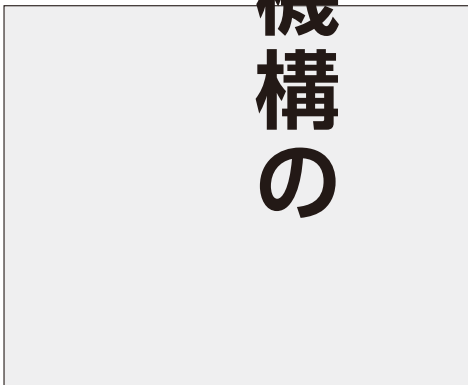
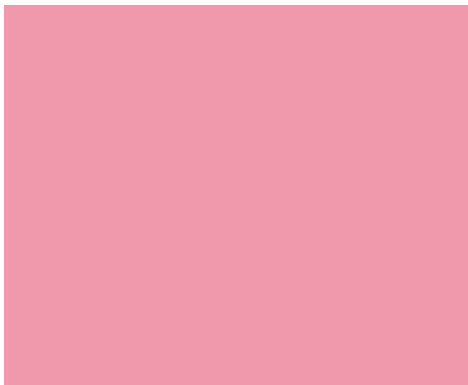
基本方針

- 1.患者さんの権利を尊重し、済生の心でまことの医療奉仕につとめます。
- 2.地域の医療機関や福祉施設との連携のもとにリハビリテーションを重視した早期の社会復帰を支援します。
- 3.本院と連携し質の高い医療を提供します。
- 4.安全で快適な療養環境を提供します。
- 5.職員の創意を生かし、患者さんと職員の満足度の向上につとめ、運営の持続的安定を目指します。

地域医療と皆様をつなぐ広報紙コミュニケーション

TAKE FREE ※ご自由にお持ちください。

当院は  
日本医療機能  
評価機構の  
認定を受けた  
医療機関です！



●特集

# 当院は 日本医療機能評価機構の 認定を受けた医療機関です!

## 病院機能評価一発合格

前 総看護師長／名越 正子



病院の玄関を入った左側の掲示板に、当院の主なスタッフの紹介があります。その右側に「認定病院」当院は日本医療機能評価機構の認定を受けた医療機関ですと書いた大きなポスターが貼ってあります。来院された方はお気づきでしょうか。

平成18年(2006年)4月に済生会吉備病院として開院し、6年の月日が経過致しました。済生会の理念を基に、吉備病院として「地域に親しまれ、信頼される病院」の理念で、具体的に何をどのように展開していくのか、開設時の幹部は試行錯誤でした。建物は新築で快適ですが、良質な医療提供をするのは「人」です。この病院で望む医療従事者を育てるには、目標を明確にしなければいけません。各々の部署に具体的に提示していかねばなりません。幸いに、岡山済生会総合病院(本院)という歴史ある病院と連携しています。そこで培った多くの知識・技術を持ってきたつもりです。しかし、病院の規模も機能も違います。そして、本院には無い「回復リハビリテーション病棟」があります。

開院の立ち上げを担った職員60

名は、職種の垣根を越えて病院づくりの努力をしました。開院時からの目標として、いずれ機能評価が受けられるレベルの病院になりたい、なるんだ、という思いで各委員会で幹部が啓蒙し意識づけていきました。評価の項目は、

- 1, 病院組織の運営と地域における役割
  - 2, 患者の権利と医療の質および安全の確保
  - 3, 療養環境と患者サービス
  - 4, 医療提供の組織と運営
  - 5, 医療の質と安全のためのケアプロセス
  - 6, 病院運営管理の合理性
- の6項目です。評価項目を参考に、病院として「めざすもの」が具体化されているので、それを参考にマニュアルを作成し、実践。また、幹部が各部署をラウンドし現場の改善を共に考えていきました。当初は、開院3年後に受審したい、と自己採点しましたが、時期尚早か、という項目があり延びていました。そして、平成23年7月22日(金)23日(土)に、訪問審査を受けました。職員は100名になっており、5

年の歴史を感じます。その間に職員の異動もありました。職種によっては、この病院に入職して1年未満の職員であっても個別面接を受けました。この受審は、書類審査と訪問審査があります。

全職員、緊張と不安のなかで、評価調査者(サーベイヤー)と呼ばれる第三者評価を受けたのです。8月25日に中間的な結果報告書を頂き、全ての項目が合格点でした。職員一同「一発合格」に喜び、11月30日に最終の総括と「認定証」を頂きました。

これまでのプロセスで、準備を進めるなかで問題点がわかり改善したり、職員ひとりひとりが共通した認識を持つことができ、今後の病院の方向性も見えてきたと思います。認定にあたって本院の協力や、各領域担当者の果たした役割は大きいです。まもなく開院7年目を迎えます。マンネリ化しやすい時期に節目となりました。今以上の努力をして患者さんに、満足と質の良い医療を提供できる病院でありたいと願っています。

# 回復期リハビリ病棟

看護師長心得／秋山 郁恵

初めまして回復期リハビリ病棟です。

「おはようございます。夜は良く眠れましたか?」と、一日が始まります。

ここは、済生会吉備病院の4階にある回復期リハビリテーション病棟の朝の風景です。夏は日の出と共に患者さん自身で、冬は看護師さんに無理矢理起こされ、眠い目を一生懸命開けて洗面し、寝まきから服へ着替えます。今回は、回復期リハビリテーション病棟のお話をしたいと思います。

まずは、どんな病棟かと申しますと、脳血管障害・大腿骨頸部骨折・外科的手術後・肺炎等で日常生活に支障をきたした方へ、寝たきりにならず自宅復帰出来るように病院スタッフで力を合わせてリハビリをしている病棟です。

リハビリと聞けば、不自由になった身体を動かし、少しでも以前の自分へ戻れる訓練をリハビリの部屋で行っていると思われる方も多いと思いますが、病棟での一日の行動がリハビリへと繋がり、日常生活復帰への道となっていると信じています。

入院・転院で吉備病院へ来られた時には車椅子へ乗り、パジャマを着て、つらい状況での入院・転院となる場合もあります。病気がなった日から1ヶ月～2ヶ月までに4階のリハビリ病棟へ移りそこでしっかりリハビリをして頂きます。

麻痺があっても頑張ってトイレで排泄し衣服を着替え、利き手と反対の手で、はし・スプーンを持ち食事を口に運び毎日毎日少しずつ前進し退院を迎えられます。

こうなる為には、入院・転院当日から緊張感と不安の中でのリハビリを開始し、「こうなりたい」という目標を持っての入院生活が大切です。病気の受け入れにも時間を要しますが、「やる気」を持つことが大きな力となります。もう一つ大切なことは家族の協力です。患者さんは孤独を感じています。「いつでも側に居ますよ。あなたを見守っていますよ。」という気持ちで接していただければ何事に対しても意欲に繋がると思います。看護師は頑張っている患者さんに対し手を差し伸べ、少しでも早く良くなるように手助けをしています。時には手伝いたいのをぐっとこらえて



見守っていることもあります。

しかし、厳しいばかりではなくリハビリ病棟では年2回のお楽しみ会をしています。医師、看護師、リハビリスタッフ、事務長も参加して、歌やスタッフの出しもので楽しい時を過ごします。会の中では、美味しいお菓子、お茶も振るまわれます。

昨年は、小運動会で玉入れをしたり、サンタクロース参上のクリスマス会をしました。患者さんの姿をみていると、70代、80代、90代の方達が、うれしそうな表情で楽しんでいらっやいます。私達も、自然と笑顔で喜びを分けて頂いています。

回復期リハビリ病棟はこんなところですが、まだまだこれは一部分でお話をしたいことがたくさんあります。今回はこのあたりで失礼します。

最後に私達病棟スタッフが幸せを感じる時は、頑張った患者さんが無事に退院されるときです。それも、一番良い笑顔で。



デイルームでの様子



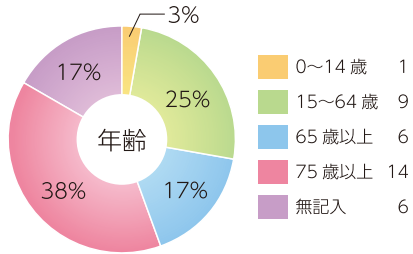
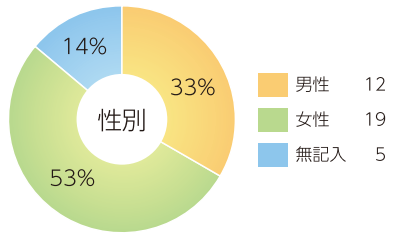
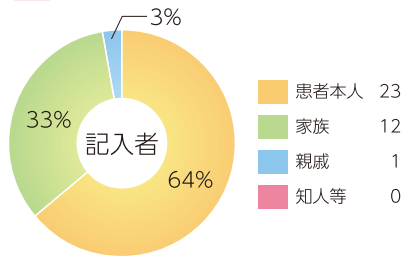
クリスマス会の様子



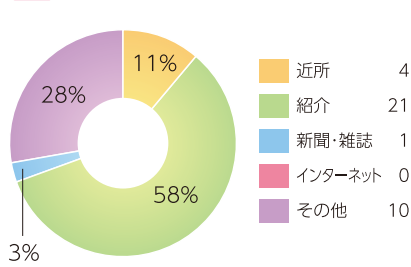
●入院アンケート集計結果

・実施日：平成23年11月21日(月)～12月31日(土) 実施人数：36人

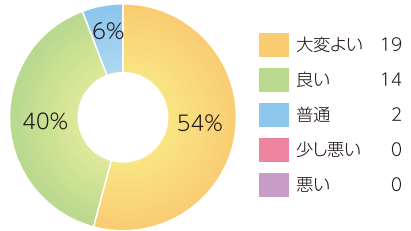
質問 1 このアンケートを記入される方について教えてください。



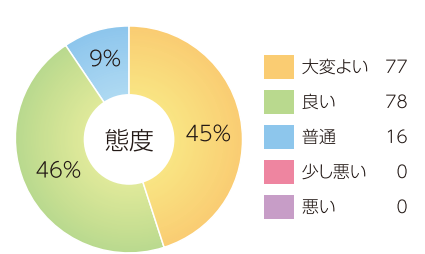
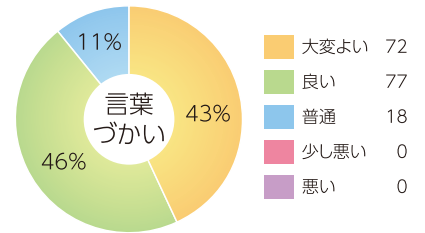
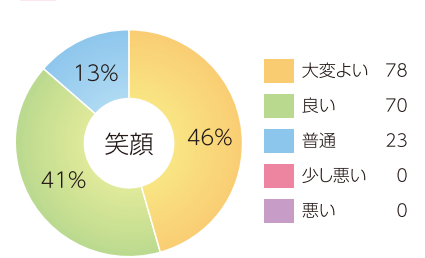
質問 2 この病院をお知りになった方法は？



質問 3 病院全体のご感想はいかがでしたか？



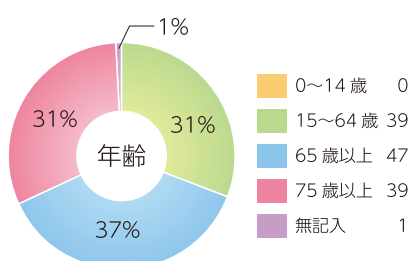
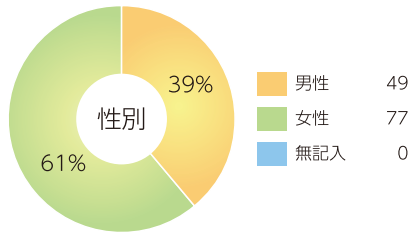
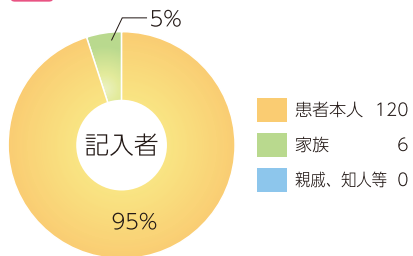
質問 4 職員(全職種)については、いかがでしたか？



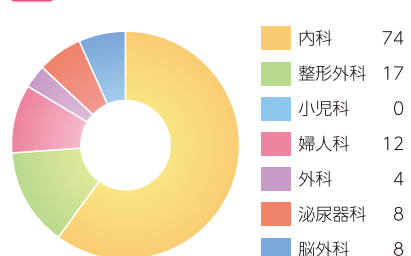
●外来アンケート集計結果

・実施日：平成23年11月30日(木)～12月2日(金) 実施人数：126人

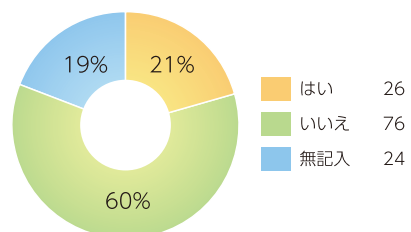
質問 1 このアンケートを記入される方について教えてください。



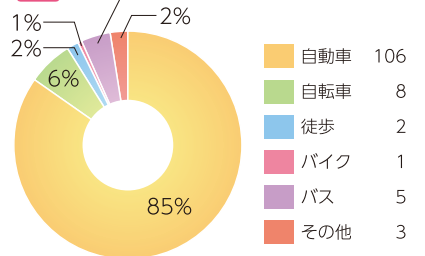
質問 2 本日はどの受診科を受診されましたか？



質問 3 本日の来院は、ご家族やお知りあいの方からの紹介ですか？

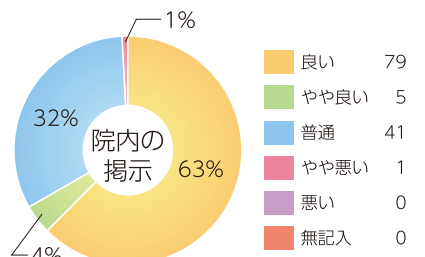


質問 4 交通手段をお答えください。

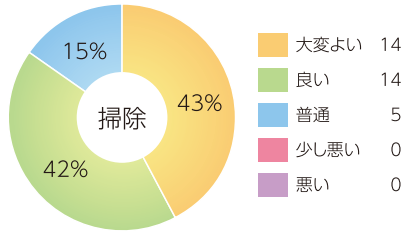
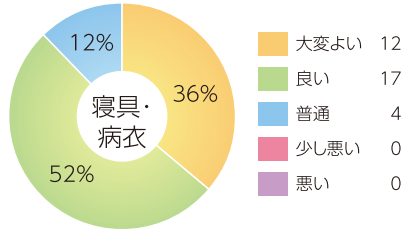
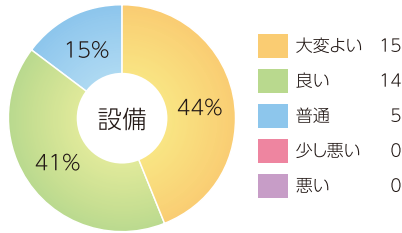
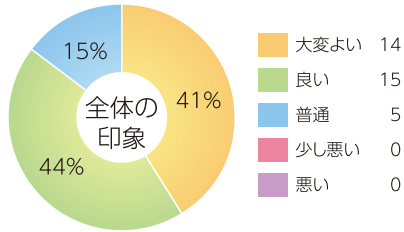
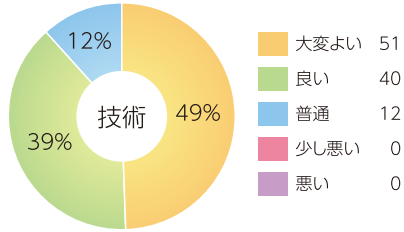
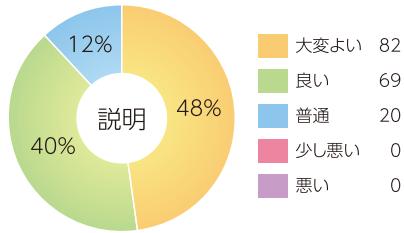


質問 5 施設・設備・情報提供に関して

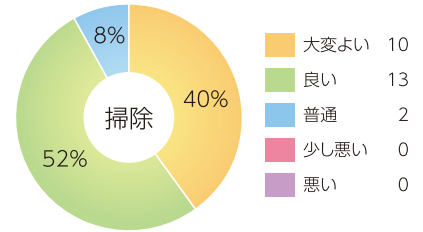
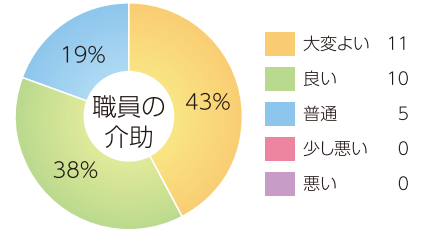
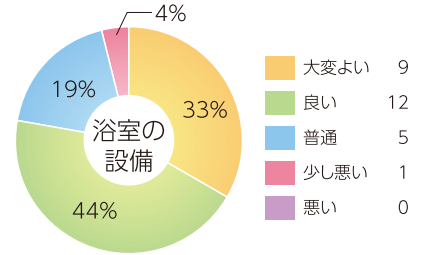
① 院内の掲示は受診時に必要な情報が提供されていますか？



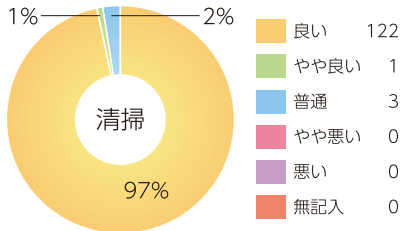
質問 5 病室はいかがでしたか？



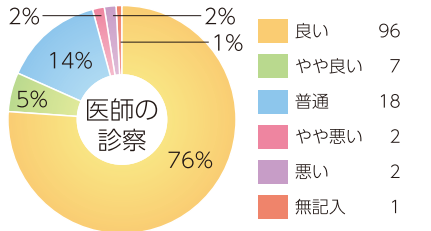
質問 6 シャワー、入浴された方のみお答えください。



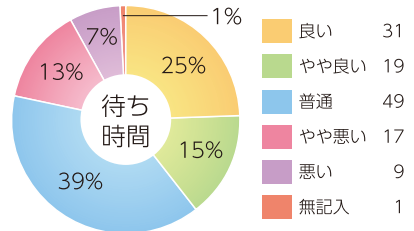
2 院内の清掃はいきとどいていましたか？



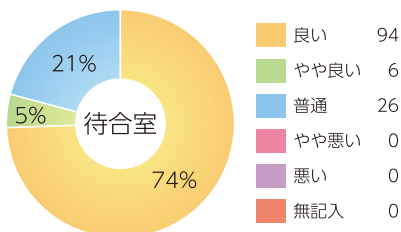
5 検査結果や病状、治療内容などの説明はいかがでしたか？



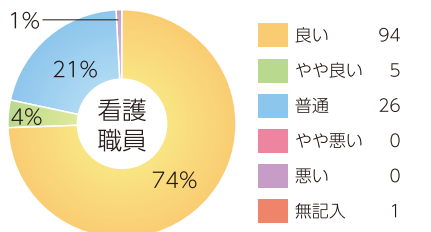
8 待ち時間はいかがでしたか？



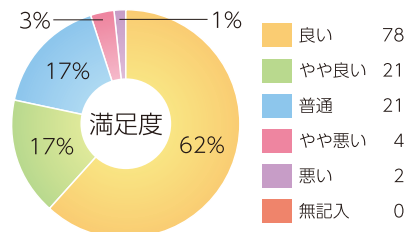
3 待合室の雰囲気はいかがでしたか？



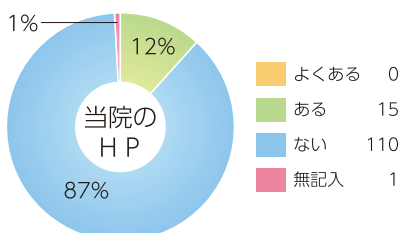
6 看護職員の対応、身だしなみはいかがでしたか？



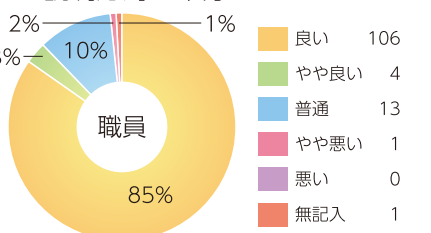
9 当院について満足していますか？



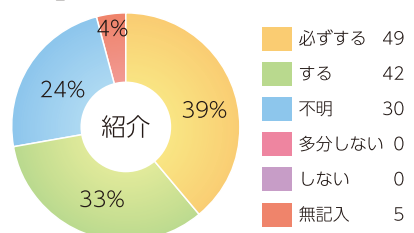
4 当院のHPをご覧になったことはありますか？



7 受付・検査・リハビリ職員の説明対応は十分でしたか？



10 当院をどなたかに紹介したいと思いますか？



## 外来患者さんの声

- ★更衣室に鏡がないので、置いてほしい。  
→回答／設置する方向で検討いたします。
- ★診療科が少ないので増やしてほしい。  
→回答／申し訳ございませんが、現在、診療科を増やす予定はございません。
- ★待ち時間をどうにかしてほしい。  
→回答／ご受診の際になるべくお待たせしないよう努力をしていますが、状況によって、お待ちいただくことがあります。そのような場合には、職員からお声がけするなど、細やかな対応を心がけます。
- ★テレビの位置が高い。  
→回答／設置状態を確認の上、移動も含め検討、対応いたします。
- ★小児科が少ない。  
→回答／小児科医が不足していることもあり、皆様にはご不便をおかけしていますが、現在医師を募集しています。
- ★整形外科があるのにMRIがないのはおかしい  
→回答／設置場所と採算性の両面からMRIの導入は困難です。撮影が必要な場合は岡山済生会総合病院に依頼し撮影致します。送迎のワゴン車もありますのでご利用ください。

## 入院患者さんの声

- ★北側の下の窓のカーテンをつけてください。冬は寒い。  
→回答／現状を確認の上、カーテンの取り付けも含め検討、対応いたします。
- ★シャワーの時間帯が日々の体調等によって調節できたらな…。  
→回答／温水は前日の夜中に一定量わかすため、水量が決まってしまう使用量が制限されます。そのためご迷惑をおかけします。
- ★当院にない薬品がありましたがその場合の要望について対応していただければ尚良いのではないかと思います。  
→回答／できるだけご希望に添えるよう努力をいたしますが、薬剤によっては同じ効用の他の薬剤を処方させていただくことがあります。まずは医師にご相談ください。
- ★病室内に温度計をつけて下さい  
→回答／各部屋にある空調パネルに現在の温度が表示されますので、こちらでご確認ください。
- ★外の景色がみられたら患者の刺激となり気分転換にもなるので空いたら順次移動させていただきたくった  
→回答／できるだけご希望に添えるよう努力いたします。まずはご入院されている病棟の看護師にご相談ください。
- ★個室の洗面が狭い(空の消毒液差しが邪魔)  
→回答／消毒液差しは撤去いたします。

## 医療福祉無料相談会のご案内

医療費に関する心配ごとをお伺いします。

- 医療費の問題で、治療を続けることや、これから治療を受けることに不安をお持ちの方の相談を医療ソーシャルワーカーがお伺いいたします。

**日時** 毎月第3水曜日  
午前10時～12時

5月16日、6月20日、7月18日、8月15日、  
9月19日

**場所** 済生会吉備病院  
1階 面談室



## がん患者・家族のための相談会のご案内

- 岡山済生会総合病院がん相談支援センターの相談員がご相談をお伺いいたします。

**日時** 偶数月第3水曜日  
午後2時～4時  
6月20日、8月15日

**場所** 済生会吉備病院 1階 会議室

## お問い合わせ先

医療福祉課 ☎086-287-8655(代)

- 相談は無料です
- 相談は事前予約ができません
- 相談内容についての秘密は厳守します

広報委員会でテーマを検討し、1年に数回『健康教室』を開催しています。毎年恒例の「高松農業高校 こぶたちゃんの芸」「高松中学校 吹奏楽部のみなさんによる演奏会」や、当院職員による「腰痛教室」「介護のはなし」など、地域の方々との交流を楽しみにを行っています。参加は無料ですので、ぜひお越しください!

## 平成23年度 第2回健康教室

# 「災害時あなたの食事は?」

人工透析室／西本 泉

平成23年9月22日(木)第2回目の健康教室が開催されました。健康教室の前に医療ソーシャルワーカーの阿部より、高額医療についての説明がありました。今回は患者さんのご家族・一般からの参加を含め12名の参加でした。

管理栄養士の久米川より「災害時あなたの食事は?」というテーマで、災害時の非常食についてのお話でした。非常食と聞くと、何か

特別な食事で費用もかかる様なイメージがありますが、今回は日常の中で備蓄していくという観点からのお話でした。そして、備蓄していくもののチェックリストを参考に一つ一つの項目について説明がありました。備蓄品を使用するときは、緊急事態なので、保管場所が家族全員に分かるようにしなければならない等、災害時を想定した内容で参加された方達もメモをとったりと、



熱心に話を聴かれていました。

3月の東日本大震災に続き、9月には台風襲来と、災害は「いつ・どこで」起こるか分かりません。その時に慌てないためにも、備蓄していく必要性を強く感じました。

## 平成23年度 第3回吉備病院健康教室

# 「芸するミニブタちゃんに会いに行こう」

はくとう病棟／藤川 明子

平成23年10月8日(土)、吉備病院の裏庭の芝生広場に例年どおり今年も、地元の高松農業高校より、畜産科の生徒さん6名とかわいいミニブタちゃんが3匹やってきてくれました。入院患者さん30名、患者さんの家族や地域の方々の総勢70名ほどの参加がありました。ミニブタの「ボタンちゃん」は4年前より芸するようになったそうで、去年より体重が10キロも増え、大き

く成長した少し重そうな身体でした。生徒さんの合図で、おまわりやおすわり、待てなどの動作をとっても愛らしいゆっくりとしたペースで見せてくれました。また、出産が近いお腹の大きな「そらちゃん」、まだ1才のこない「りくくん」はちゃんこな姿を見せてくれました。最後に患者さんや、地域の子供たちがサツマイモを食べさせたり、背中をなでたりとミニブタちゃんとお



れあったり、生徒さんや先生からミニブタのことを色々教えてもらったりしました。

入院生活ではなかなか出来ない体験をし、皆さん笑顔にあふれた時間を過ごせました。

## 済生会吉備病院に併設した 介護老人保健施設「備中荘」

岡山県済生会が新設した  
介護老人保健施設「備中荘」が、  
平成24年2月1日開設されました。



◇この施設は、全室個室のユニットケアとなっており、1ユニットは10名で家庭的な雰囲気の中でお世話できる施設となっています。

◇併設の済生会吉備病院及び岡山済生会総合病院との連携により安心して療養生活を送っていただけます。

### 【施設の内容】

#### ◇介護老人保健施設「備中荘」 入所定員60名

病院から退院後ご家庭での生活が難しい方に入所していただき、看護・介護・リハビリテーション等を受けながら療養生活をおくり、家庭に帰られる状態になったらおもどりいただく施設です。また、回復が思わしくなく在宅への復帰が困難な状態になった場合は、特別養護老人ホームに移っていただく事があります。

※利用者は要介護認定により要介護1以上に認定された方となります。

#### ◇空床利用型短期入所(ショートステイ)

空床を利用して、在宅で療養している要介護者のかたを短期間施設でお預かりして日常生活に必要なリハビリなどを行います。

#### ◇老健「備中荘」デイケア(通所リハビリ)

##### 通所定員20名

在宅で療養しているかたに対して、施設にきていただき必要な日常生活のリハビリなどを行います。

施設では身体機能の維持回復を目指したりリハビリなどを行い、住み慣れた地域での社会生活が継続できるようお手伝い致します。また、希望者には車での送迎も致します。

※利用者は要介護認定により要支援以上に認定された方となります。

#### ◆利用希望者は下記にご相談下さい

〒701-1334 岡山市北区高松原古才600-5  
TEL 086-287-3332 / FAX 086-287-8885

介護老人保健施設「備中荘」 相談室  
担当(竹下、市川)

## HbA<sub>1c</sub>(ヘモグロビン A<sub>1c</sub>)

ヘモグロビンが非酵素的に血中の糖と徐々に結合し、HbA<sub>1c</sub>となります。HbA<sub>1c</sub>は、グルコースが結合したもので、HbA<sub>1</sub>の大部分を占め、その含有量は血糖値に比例します。HbA<sub>1c</sub>は赤血球の寿命から過去1～2か月間の平均血糖値を反映すると考えられるので長期血糖コントロールおよびその推移の評価に優れて

います。吉備病院でもすぐ結果がわかります。基準範囲は、今までは日本独自の「JDS」で計算した4.3～5.8%でしたが、24年4月1日から日常診療においては国際標準の「NGSP」で計算した4.6～6.2%に変わります。今までの自分のHbA<sub>1c</sub>のデータと比べて悪くなったと勘違いされないようご注意ください。ただし、特定健診、保険指導においては今まで通り「JDS」での値となります。ご不明な点がございましたら病院へお問い合わせ下さい。

### 編集 後記

今年の冬は厳しい寒さが続きましたね。風邪を引かれた方も多かったと思います。

4月に入り日ごとに暖かくなり、日中は気持ちのいい陽気です。皆さんお花見には行かれましたか？春爛漫のこの頃、健やかなる日々をお過ごし下さい。今回アンケートにご協力いただいた皆様ありがとうございました。この結果を踏まえ今後とも地域に愛され信頼される病院作りに努めていきたいと思っております。(S. A)